



# 看護師向け胸膜中皮腫 包括ABCケア教育プログラム

## 事前学習ビデオ

### ⑥退院して自宅に帰る 中皮腫患者・家族への支援

聖路加国際病院 細川 恵子  
聖路加国際大学 小野若菜子



# はじめに

入院中、薬物療法を受けてる患者は、薬の副作用の辛さや病気の進行、治療への不安を抱えている。その家族もそれぞれの不安を抱えている



退院する場合、その先を予測した在宅療養支援、病院から在宅への**継続看護**が大切な役割を果たす。

ここでは、中皮腫の薬物療法の副作用と看護、自宅でのよりよい生活を送るための支援について考えていきましょう。



# 学習目標

## 1 中皮腫の薬物療法の副作用と看護

- 1) 中皮腫の薬物療法の概要を理解する。
- 2) 入院から外来における薬物療法の移行の流れや特徴を理解する。
- 3) 薬物療法における本人・家族の負担や課題、留意点、その看護について理解する。
- 4) 外来における薬物療法部門の実際の様子を学ぶ。

## 2. 自宅でのよりよい生活を送るための支援

- 1) 切れ目のない看護：継続看護について理解する。
- 2) 退院調整・退院支援について理解する。
- 3) 本人・家族の治療や生活への希望を叶える支援について理解する。



## 事例：若いころ電気工をしていたAさん

Aさん(男性, 75歳)は、IV期の胸膜中皮腫患者です。若いころに電気工をしていました。病院でペトレキセド+シスプラチンの薬物療法を受けましたが、3か月で効果がなくなり、現在はニボルマブの薬物療法を受けていますが、腫瘍縮小効果は芳しくありません。退院後、近医で外来薬物療法に通うことになりました。

入院中からあった胸痛はじわじわと強くなっているような気がしていますが、まだ痛み止めは使いたくありません。治療の効果で何とか腫瘍の増大を防ぎたいと願っていますが、以前に医師から「完治は望めない」といわれたことがAさんを不安にさせます。薬物療法のためか、体力の低下や倦怠感があり、妻(70歳)も持病があるため、退院後の生活に不安があります。

退院に向けて、カンファレンスを開くことになりました。担当看護師として、どんなことに留意して進めていきますか？

ここでは、Aさんの看護に大切なポイントを見ていきましょう。



# 1. 中皮腫の薬物療法の副作用と看護



# 中皮腫の薬物療法

- 化学療法（抗がん剤）  
シスプラチン＋アリムタ など
- 免疫療法（免疫チェックポイント阻害剤）  
ニボルマブ＋イピリムマブ など
- 副作用の発現時期や期間、対処方法が異なる
- 添付文書を読む
- 重大な副作用を見逃さない
- どのような副作用がでるのか、十分な説明
- 緊急連絡先を明記し、連絡ができるようにする



## 免疫チェックポイント阻害剤の 副作用と看護（一例）

- ニボルマブ＋イピリムマブの組み合わせでみられる皮膚障害
- 全身に発疹とかゆみ
- 皮膚科との連携
- ステロイド外用剤や内服処方
- なるべく搔かないように  
冷やす  
やさしく洗い、清潔に保つ  
保湿をする



# 薬物療法：入院から外来へ

- 外来でおこなう薬物療法：患者自身、家族が副作用がでていないか留意し、毎日の体調を自己管理する（副作用マネジメント）
- 入院⇔外来、がん拠点病院⇔地域の病院など、療養の場が変わるときの引継ぎで大事なこと
  - 発症からの経過や治療の概要
  - サポート体制について
  - 患者の病気や治療についての思い
  - 患者の大切に思っているものはなにか
  - 医療スタッフが引き続き行ってほしいことは何か





# 外来化学療法室の実際



- 安全、確実に薬剤を投与するための環境を整える
- 問診の時や、点滴をしているときの会話などから、患者や家族の思いを引き出す
- タイムリーな介入が大事

- プライバシーの確保
- チームで協力しながら、必要な時間を確保する。





# 外来化学療法室での介入

- 副作用とその対処方法を知ってもらう
- どのような副作用が出現するかを知ることで、予防できたり、早めに対処できたりする
- どのような症状が出現したら**必ず**連絡をしなければいけないのか、具体的に書面をもって伝える
- 普段と同じ生活ができるように援助をする
- 薬剤の曝露に注意
  - 排泄物の取り扱い
  - 過度な対策は必要ない



# 免疫チェックポイント阻害剤を使う患者への説明

- パンフレットを用いて説明
- 軽い症状でも放置すると急に悪化したり、重症化する可能性があるため、早期に適切な対処をおこなうことが大切である
- 連絡してほしい症状を具体的に  
例) 間質性肺炎→『息苦しさがあったら・・・』
  - いつも上がれる階段があがれない
  - しゃべるときも息があがる など
- おかしいな、電話した方がいいかな?と思ったら連絡をしてもらう



# 抗がん剤を受ける患者への説明

- パンフレットを用いて説明
- 副作用の出現時期、出現しても遷延しないこと、副作用の強弱は個人差があること
- 症状と対処方法を具体的に説明する

## 例) 嘔気嘔吐

- 点滴後、翌日から始まり2-3日で治まる
- 嘔気が残る人もいるが、1週間くらいで治まる
- 制吐剤は、嘔気嘔吐がなくても内服する
- 水分がとれないようなら必ず連絡をする
- 嘔気があるときは、無理に食べる必要はなく、ゼリーやシャーベットなど口当たりのよいものを食べたいときに食べる
- 嘔気嘔吐を起こさせないことがポイント

**\* 我慢は禁物！** 困りごとはあるときは、連絡をしてもらう



# がん薬物療法を受ける患者への看護師の役割

- 標準治療を知り、幅広い知識を持つ
- 薬物療法の副作用には個人差があることを前提に  
その発現時期、度合い、基本的なマネジメントを知る
- 揺れ動く患者や家族の気持ちに寄り添い、  
いつでも相談できる環境を整える
- 「自分らしく」生きる方法を患者、家族とともに  
模索する
- 患者や家族とよいパートナーシップを保つ
- 傾聴だけでなく、根拠に基づいた適切なアドバイスを行う
- 入院と外来、地域と病院、など垣根を超えて連携をする



## 2. 自宅でのよりよい生活を送るための支援





## 切れ目のない看護：継続看護

\* 継続看護とは、看護の対象となる人々の療養生活における昨日、今日、明日といった継続性と、療養の場の移動や健康状態の変化にかかわらず、責任をもって、一貫した看護が提供されるという、看護の質的な継続性を意味している1)。

1. 退院支援・退院調整
2. 在宅療養に向けた準備

**院内や地域(院外)における看看連携、チームの形成が  
大切！**

1) 日本看護科学学会看護学学術用語検討委員会第9・10期委員会：看護を構成する重要な用語集, P21, 2011.





## 在宅療養に向けた準備

### :生活を再構築する退院調整・退院支援

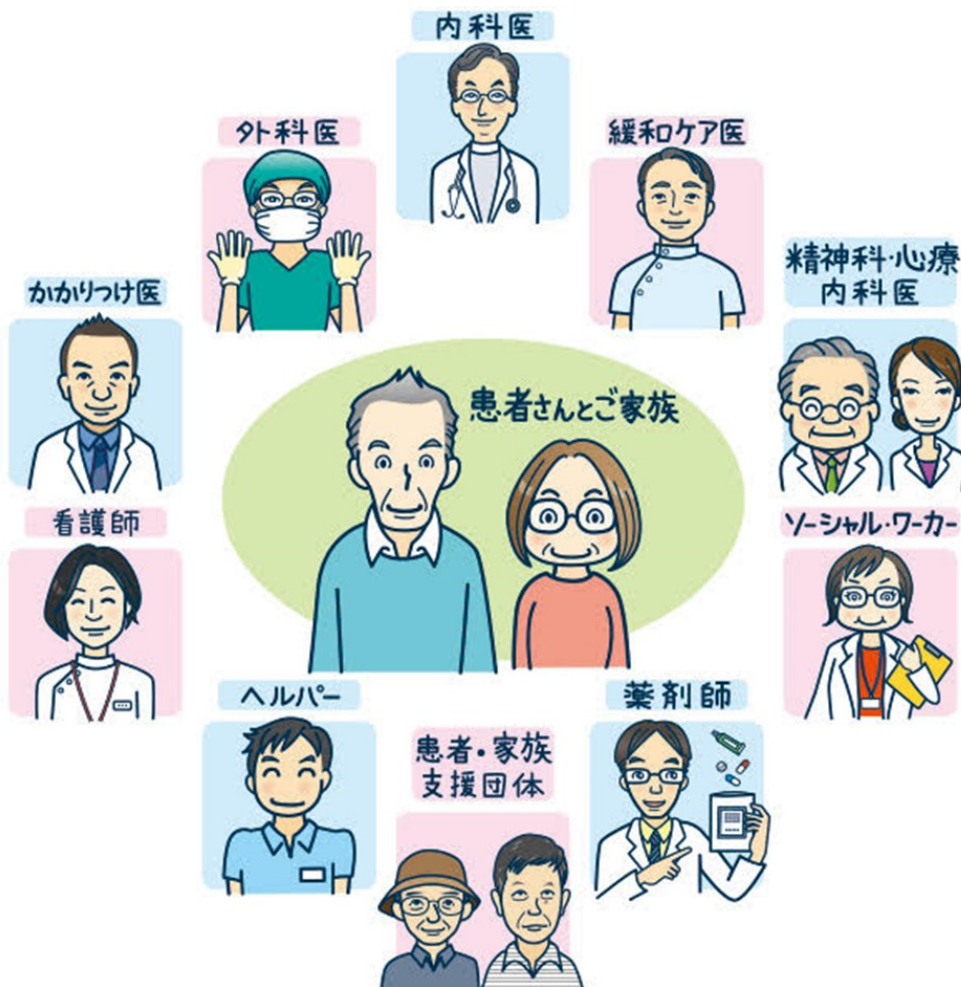
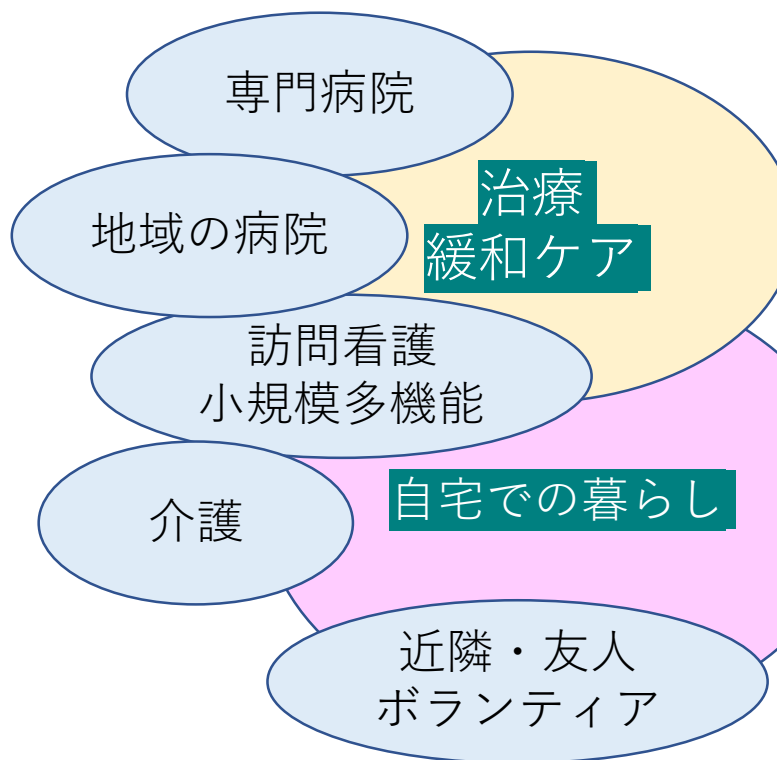
- 1 患者・家族が**治療や在宅療養に関する意思決定**をする。
- 2 患者・家族が、患者の病状を**自己管理する力**を高める。
- 3 患者・家族を中心に、在宅療養の目標を話し合い、ケア計画を立案する。
- 4 患者・家族が**医療的ケアや介護の手技**を習得する。
- 5 患者・家族が退院に向けた**生活の実際についてイメージ**を持つ。
- 6 薬や物品を準備する。
- 7 患者・家族、専門職間で**緊急時連絡体制**を確認する。
- 8 病棟看護師は、退院先で関わる看護師等に引継ぎを行

う  
文献)小野若菜子(2021):切れ目のない看護(継続看護),尾崎章子,佐野けさ美編著,地域・在宅看護論, P196-201, 医歯薬出版.





# 中皮腫の患者・家族を支える 地域包括ケアシステム





## 退院時カンファレンスや退院準備のポイント

- 1 患者・家族の退院への思いや治療への認識を聞く。
- 2 今後の生活について、患者・家族の希望を訪ねる。
- 3 家族の状況や介護負担なども確認する。
- 4 患者・家族を主体に、わかりやすい言葉で話す。
- 5 薬や医療的ケアが自宅で実施しやすいよう、回数や時間、方法などを検討する。
- 6 病状悪化や急変のリスクも含めて、どう生活したいかを話し合う。
- 7 活用できる社会資源・介護サービスの検討・準備を行う。

⇒病院でできるところまで準備し、その後は、在宅で引き継ぐ。



# 「人生会議」アドバンスケアプランニング, ACP

「人生会議」とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと1)



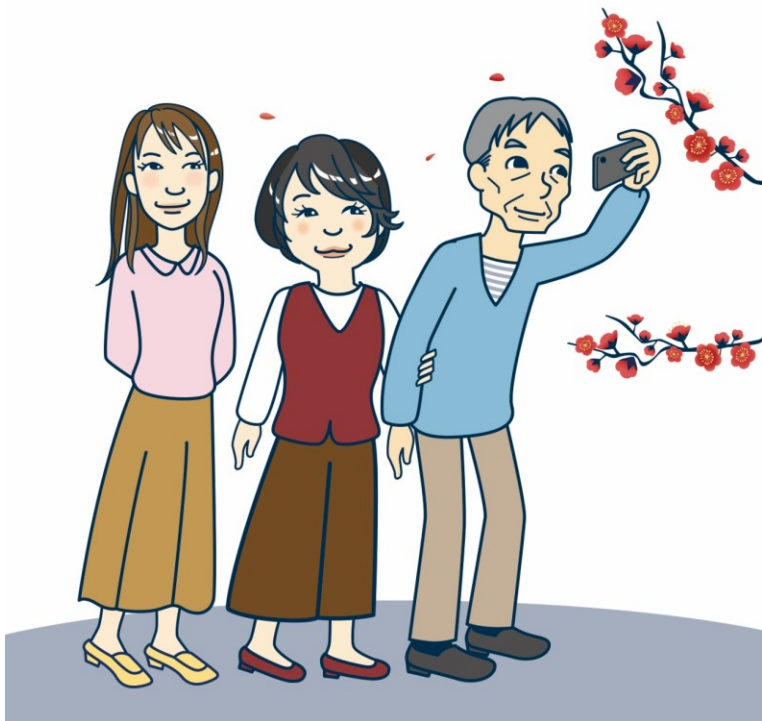
カンファレンスの中で、ちょっとした対話の中で、もしもの時の医療やケアの意向について、話に耳を傾けましょう。

資料) 厚生労働省ホームページ,  
「人生会議してみませんか」



## おわりに

1. 中皮腫の薬物療法の副作用と看護
2. 自宅でのよりよい生活を送るための支援



Q:  
Aさんの退院において、  
担当看護師として、どん  
なことに留意ますか？  
ポイントを整理しましょ  
う。